



令和元年 11 月 5 日

大学記者クラブ加盟各社

御中

在阪民放京都支局各社

石清水八幡宮展望台で点灯式を開催

**鎮守の森コミュニティ構想と国連 SDGs 開発目標に基づく地域創生の取り組みの一環として
自然エネルギーと LED により神社境内を灯し地域コミュニティを活性化する活動を推進**

京都大学こころの未来研究センター^{*1}の広井良典教授、石清水八幡宮^{*2}の田中朋清権宮司（石清水なつかしい未来創造事業団理事長、国連の友 SDGs 文化推進委員長、国連システム学術評議会正会員）および NPO 法人八幡たけくらぶ^{*3}の竹下修史理事長は、京都大学と日立製作所の共同研究部門である日立京大ラボ^{*4} およびダイナックス都市環境研究所^{*5}と共に、鎮守の森コミュニティ構想と国連 SDGs 開発目標に基づく地域創生の取り組みを進めています。

日本全国に遍くある各々概ね八万の神社と寺院は地域コミュニティを活性化するための心と文化の支柱となりえるものであり、その先駆けとして、全国に広がる神仏習合八幡宮のうち三大宮の一つである石清水八幡宮から、自然エネルギーにより神社境内を灯し地域コミュニティを活性化する活動を推進しています。今回の点灯式では、本年 3 月 14 日に催行しました御本殿釣灯籠とエジソン記念碑の点灯式^{*6}に続き、これまで灯りが設置されていなかった男山展望台を太陽光エネルギーと LED によって灯します。

石清水八幡宮展望台 点灯式

1. 日 時：令和元年 11 月 14 日（木）午後 4 時 30 分
2. 場 所：石清水八幡宮 男山展望台
3. 式 次 第：

①開式

②挨拶

石清水八幡宮権宮司、国連の友 SDGs 文化推進委員長

田中朋清

京都大学こころの未来研究センター 副センター長 教授

広井良典

NPO 法人八幡たけくらぶ 理事長

竹下修史

日立製作所研究開発グループ 基礎研究センタ 日立京大ラボ 長 主管研究員 水野弘之

ダイナックス都市環境研究所 所長代理、取締役、主席研究員

橋本慎吾

③点灯

④閉式

鎮守の森コミュニティ構想とは、現代日本の社会課題がコミュニティにおける人と人あるいは人と自然とのつながりの希薄化にあると捉え、古来から存在してきた「鎮守の森」を自然そして文化が一体になった場所として再発見し、それを自然エネルギーの分散的整備等と融合することを通じてローカルなコミュニティの創生と活性化を目指すものであり、京都大学こころの未来研究センターと鎮守の森コミュニティ研究所^{*7}の広井教授が中心となって活動を行っています。京都大学と日立京大ラボが共同で実施したAIを活用した政策提言^{*8}では、日本を持続可能なシナリオに導くためには7～9年後までに都市集中から地方分散への大きな舵取りが必要であることが明らかとなり、ますます地域コミュニティの活性化が重要になっています。全国の神社や寺院にある鎮守の森を自然エネルギーとコミュニティを結びつける拠点として展開していくための象徴的試みの一つとして、今回の石清水八幡宮や境内における取り組みを行っています。

国連の友SDGs文化推進委員会^{*9}は、018年5月に開催されたニューヨーク国連本部SDGs推進会議において正式に発足し、石清水八幡宮の田中権宮司がSDGs文化推進委員長に就任しました。SDGs達成に向けて重要な鍵である、文化における相互理解とグローバルシチズンシップとしての倫理の醸成を目的とし、地球環境や経済活動を持続可能にするために文化的視点から活動しています。また、国連システム学術評議会^{*10}を通じて、専門家だけでなく実務家、市民社会、学生との相互理解と国際連帯を広める活動を行っています。その手始めとして、石清水八幡宮を中心とする京都府八幡市の活性化を目指して、本年3月に御本殿の釣灯笼とエジソン記念碑、そして今回の男山展望台を自然エネルギーにより灯し、NPO 法人八幡たけくらぶを始めとする地域住民と「はちまんさん」をつなげる取り組みを始めました。

八幡たけくらぶは2003年4月に発足し、2009年1月にNPO法人に認証されました。石清水八幡宮のある八幡市男山ならびに周辺の竹林の整備を通じて自然環境保全活動に取り組み、竹細工や筍掘りを通じて市民参加と青少年育成などの地域奉仕活動を行っています。その活動は亀岡市の生涯学習共生賞、京都オムロン地域協力基金の京都ヒューマン賞を受賞しています。活動拠点の「展望の館」がある男山展望台からは、木津川、宇治川、桂川の三川の流れの向こうに京都の洛中、東山、比叡山が望めます。男山は京の都の裏鬼門に位置する要衝であり、石清水八幡宮には時の為政者である尊氏・信長・秀吉・家康などが信仰を寄せてきました。京の都を一望する展望台を自然エネルギーによって灯すことは、未来の八幡市、京都そして日本全国に向けて意義深いものであると言えます。

日立京大ラボ（日立未来課題探索共同研究部門）は、「ヒトと文化の理解に基づく基礎と学理の探究」を推進するため、京都大学と日立製作所により2016年6月に大学構内に設立されました。上記のAIを活用した政策提言と並行して、Society 5.0に向けた応用哲学・倫理学の研究^{*11}、自然エネルギーによる地域経済循環の実証研究^{*12}などを進め

ています。前者では、Society 5.0の実現に向けITシステムの社会実装に伴う哲学的・倫理的な諸問題を念頭に置きながら、社会の規範や文化を支えるテクノロジーのあり方を検討しています。後者では、自然エネルギーや地産地消サプライチェーンによる地域経済循環の活性化と、地域の規範や文化に根差したコミュニティの活性化を目指す自立的な地域社会の実証研究を進めています。これらの研究の出口として、今回の石清水八幡宮における取り組みは、地域の精神的・文化的な面から地域創生を進めていくための重要な一歩になると考えています。

ダイナックス都市環境研究所は、環境問題を中心に都市や地域社会が抱える様々な問題に幅広く取り組むシンクタンクを目指して活動しています。その一環として、活力ある地域社会づくり、循環型社会へのアプローチ、住民合意形成のコーディネートなどを行っています。今回の取り組みでは、京都大学、石清水八幡宮、日立京大ラボとともに、御本殿釣灯籠およびエジソン記念碑のゆかりを尊重しながら、太陽光パネルおよびLEDの設計および設置を担当しました。自然エネルギーの活用は循環型社会の重要な要素であり、エネルギーの地産地消は持続可能な地域経済に貢献することが期待されています。これからも自然エネルギーの活用による循環型の地域社会づくりと、鎮守の森に代表される自然と共生するまちづくりへの取り組みを広げていきたいと考えています。

今回の取り組みは、石清水八幡宮における本殿釣灯籠とエジソン記念碑に続き、男山展望台の点灯という小さな一歩に過ぎませんが、今後、一般財団法人「石清水なつかしい未来創造事業団」^{*13}の活動を通じて、自然エネルギーを活用しながら地域の灯りを広げるとともに、石清水の由来である井戸や空中茶室の閑雲軒の再生なども企画しています。さらに、神仏習合の石清水八幡宮を起点として全国の神社や寺院へ自然エネルギーにより地域を灯す活動を広げていくことで、住民と自然と文化のつながりを取り戻し、地域コミュニティの創生と活性化を進めていきます。

*1 京都大学こころの未来研究センター <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>

*2 石清水八幡宮 <http://www.iwashimizu.or.jp/top.php>

*3 NPO 法人八幡たけくらぶ <http://www.ytc03.jp/index.html>

*4 京都大学と日立が「日立京大ラボ」を開設
<https://www.hitachi.co.jp/rd/news/2016/0623.html>

*5 ダイナックス都市環境研究所 <http://www.dynax-eco.com/>

*6 京都大学こころの未来研究センター「太陽光エネルギーによる本殿釣灯籠のライトアップ点灯式」
http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/20190314_hiroi_iwashimizutentoshiki/

*7 鎮守の森コミュニティ研究所 <http://c-chinju.org/>

*8 日立「AIの活用により、持続可能な日本の未来に向けた政策を提言」
<https://www.hitachi.co.jp/rd/news/2017/0905.html>

- *9 国連の友 SDGs 文化推進委員会発足
<http://www.founap.org/181012-bunka.html>
- *10 国連システム学術評議会 <http://www.acuns.tokyo/ja/>
- *11 京都大学「Society 5.0 に向けた応用哲学・倫理学の産学共同研究を開始」
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/bungaku/news/2018/180403_1.html
- *12 京都大学「自然エネルギー自給率 95%により地域社会の経済循環率が 7.7 倍向上」
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/research_results/2019/190405_1.html
- *13 石清水なつかしい未来創造事業団
<http://nostalgic-future.com/index.html>

■ お問い合わせ先

京都大学こころの未来研究センター（広井研究室）

Tel/Fax: 075-753-9672

E-mail: hiroiyoshinori.5u@kyoto-u.ac.jp

石清水なつかしい未来創造事業団

Tel: 075-981-3001

NPO 法人八幡たけくらぶ

Tel/Fax : 075-982-3695

E-mail: ytc2016@cap.ocn.ne.jp

ご参考



男山展望台（紅葉のころ）



京都市街の夜景と竹灯籠（試験点灯時）